



病院の概要

- 病床数 337 床
- 医師数（研修医を除く）54 名（うち指導医数 48 名）
- 研修医数 1 年目 6 名 2 年目 8 名
- 研修医の主な出身大学 広島大学・新潟大学・北海道大学・埼玉医科大学・
大阪市立大学・秋田大学・高知大学・信州大学・
群馬大学・浜松医科大学・千葉大学・東京慈恵会医科大学・琉球大学
- 診療科 内科 循環器内科 消化器内科 呼吸器内科 神経内科 腎臓内科 糖尿病 代謝内科 血液内科 リウマチ科
緩和ケア内科 外科 消化器外科 乳腺外科 肛門外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 耳鼻咽喉科 眼科 泌尿器科
婦人科 皮膚科 麻酔科 放射線科 リハビリテーション科 救急科 病理診断科 歯科 口腔外科
- 1 日平均外来患者数 586 名 ● 1 日平均入院患者数 285 名
- 主な認定施設 日本外科学会専門医修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本内科学会認定教育関連病院、
日本消化器病学会認定施設



研修プログラムの特色

当院では、初期研修の2年間は、将来の専攻分野にかかわらず「プライマリ・ケアにおける基本的な診療能力を習得する期間」としてしています。

厚生労働省が定める「経験すべき症状・病態・疾患」をこの2年間での間に達成できることを第一の目的としています。

専門医になったときの實力差は専門知識の量と技術はもちろん、他科との境界領域の知識量にも表れると言われてしています。ぜひこの2年間は、しっかりと「generalist mind」を育てていただきたいと考えております。

【備考】ローテーションの順序は人数のバランスの配慮から、各研修医ごとに異なります。当院での評価方法は、EPOC< エポック >（オンライン臨床研修評価システム）を導入。



プログラム 例 彩の国東大宮メディカルセンター初期臨床プログラム（募集定員8人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内科	消化器	循環器	外科	救急	麻酔						
2年目▶	地域医療	精神	救急	自由選択								

必修：内科6ヶ月（内科、消化器内科、循環器内科）、救急3ヶ月、外科2ヶ月、麻酔2ヶ月、精神1ヶ月、地域医療1ヶ月

自由選択：9ヶ月（内科、消化器内科、循環器内科、外科、救急科、麻酔科、放射線科、整形外科、泌尿器科、脳外科、緩和ケア内科、リウマチ内科、血液内科、精神科、小児科、産婦人科）

研修医の処遇

- 給 与 ▶ 1 年次：45 万円 2 年次：50 万円（月額）
- 諸 手 当 ▶ 当直手当 1 年：1 万 5 千円 2 年：2 万 5 千円
- 保 険 ▶ 社会保険、厚生年金保険、埼玉県医師会厚生年金基金、
労働者災害補償保険・雇用保険
- 勤務時間 ▶ ①月～金 9 時～17 時 30 分 / 土 9 時～13 時（隔週）②月～金 9 時～18 時
- 当 直 ▶ 土日、日当直あり
- 休 暇 ▶ 日曜、祭日、年末年始（12/30 午後～1/3 迄）
- 宿 舎 ▶ 住宅貸与、家賃補助有（5 万円まで / 月）
- そ の 他 ▶ 学会・研修会等参加の費用負担あり（8 万円 / 年） 3 回 / 年（公休扱い）

主な臨床研修協力病院・協力施設

- 地域医療の協力型病院
 - ・小池内科クリニック（土呂）
 - ・平戸市民病院（長崎）
- 小児科・産婦人科の協力型病院
 - ・柏厚生総合病院（小児科）
 - ・自治医科大学附属さいたま医療センター（産婦人科）
- 精神科の協力型病院
 - ・大宮厚生病院
 - ・横浜相原病院

当院の魅力

ジェネラリスト養成を目指して！

●救急部での幅広い症例経験

初療室：4床、経過観察用ベッド9床、救急専用診察室：2部屋を整え、今まで以上に急性期対応型に進化した病院になっております。新病院移転後、救急搬送件数は年間6500件以上を受け入れています。1次、2次救急を中心に産科、小児科以外の患者はすべての受入れを目指しています。救急部の研修では、様々な疾患の初期対応が経験でき、研修医の皆さんの臨床力育成にも適しています。

●手厚い指導体制

臨床経験7年目以上で、指導医の資格がある上級医は「臨床研修指導医養成講習会」を受講しています。当院の常勤医師の8割以上が指導医であり、教育熱心な指導医からマンツーマン指導が可能な環境になっています。

●充実した研修環境

医局のデスクの他に、研修医同士、上級医とのコミュニケーションの場として研修医室を用意しています。さらに、研修医の教育環境の強化として、シミュレーションセンターを整備しています。

●off the job のサポートも充実

モーニングレクチャー/ランチョンセミナー/カンサーボード/院内学会/EBMセミナー/ICU勉強会など、各種開催



先輩研修医から

message



研修医1年目
加藤 慎也

救急科をローテートした際は、自分なりの診断や今後の方針を考え上級医にコンサルトします。同時に複数の患者さんの状態を常に把握できるのが不安を感じていましたが、その様子は上級医がチェックしているため、適宜アドバイスをもらえて安心です。研修医の実力に合わせて患者さんを任せてもらえるので着実に実力を伸ばすことができます。私は救急の2か月間でファーストタッチの自信をつけることができました。

スーパーローテート制度により救急科での研修が必須となり2年間のうちにファーストタッチは行えるようになりたいと考える研修医が増えてきました。先生方も、看護師さんもお願ひすれば大抵の手法は経験させてくださいます。二次救急病院のため急を要する病態の患者さんでなければ研修医にも任せてもらえる仕事がたくさんあります。2年間で経験値を積みみたい方はぜひ当院に見学いらしてください！

先輩研修医から

message



研修医1年目
阿部 淳

当院ではいつでも誰かに相談しやすい環境が整えられています。初期研修では当然知らないことばかりで、何を誰に聞いていいのかわからず不安を抱えることが多いと思います。学年を問わず研修医同士の仲が良く、研修医室もありますので、どんなことでも気軽に仲間にご相談できます。また、いわゆる common disease を、研修全体を通してみることがができます。例えば、消化器内科をローテートしているときでも肺炎の患者さんをもたせていただくことができます。頻度の高い病気を、ローテートしている科に関係なくみることができるので、2年間の研修終了時には自信をもって common disease に対応できるようになると考えています。今後、専門医制度が変わり専門の重要性が高まることが予想されますが、だからこそ、よくある病気はすべての医師が治療できるようになるべきではないでしょうか。

女性医師支援コーナー

- ・育児休業制度
- ・短時間勤務制度
- ・深夜業務の制限

- ・時間外労働時間の制限
- ・子の看護休暇制度
- ・病院のすぐ横に、24時間保育室を運営

連絡先

彩の国東大宮メディカルセンター

臨床研修センター 野口 寛美

〒331-8577 さいたま市北区土呂町1522

TEL ▶ 048-665-6111 (代表) FAX ▶ 048-665-6112

E-mail ▶ kenshui@shmc.jp

URL ▶ http://www.shmc.jp/

アクセス ▶ JR宇都宮線 土呂駅から徒歩11分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学について

- ・病院見学の申込みは、随時受付けております。病院HPの応募フォームからお申込みください。
- ・東京ビックサイトで開催される春・夏のレジナビにも参加いたしますので、ぜひブースにお立ち寄り下さい。